

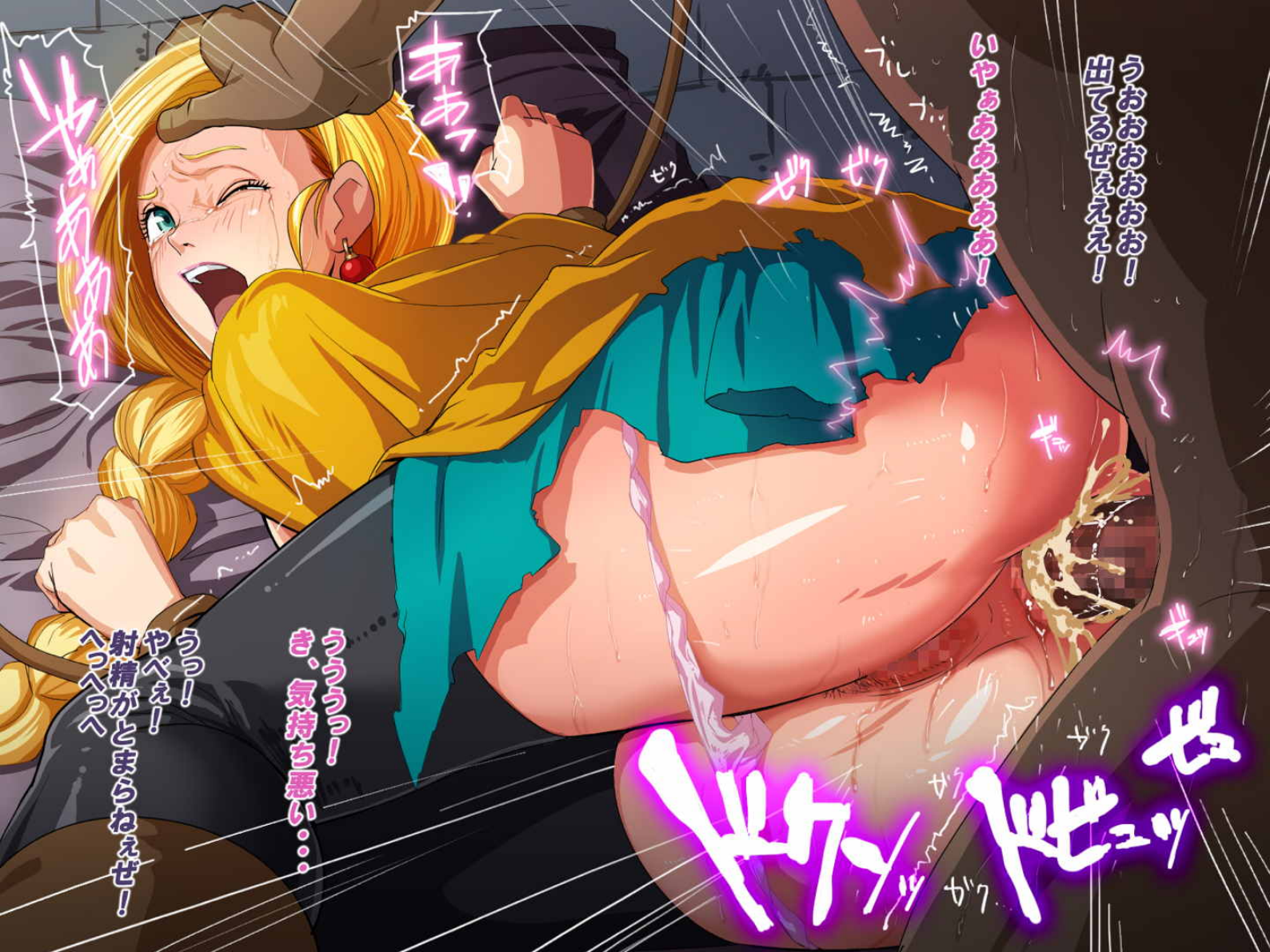
へへへ  
さっきまでの威勢はどうしたっ？  
チンポぶち込まれて諦めついたら？

ぐっ……  
いやあーめ、抜いてっー  
痛っ……は……  
（お尻が……裂けそう）

そっかい？  
お前の肛門は気持ち良さそうと  
ウネウネ動いてるぜ？  
へへへ

うっ……  
最低よ、あなたは！

何とでも言えよ  
ああ、マジ気持ちいいぜ  
やっぱいい女を犯すのは  
たまんねえな！  
まずは一発目、イクせ！



うおおおおお！  
出てるぜえええ！

いやあああああ！

あああ

やあやあ

うううう！  
き、気持ち悪い…

うっ！  
やべえ！  
射精がとまらねえぜ！  
へっへっへ

せ  
せ  
せ



はあはあ、へへへ  
たまんねえな、このマツ

いやあ...抜いて...  
（お尻が、痺れて...）  
はあ

はあ

はあ

はあ

あ

あ

あ

あ

わ...  
はあ

はあ  
はあ  
はあ

はあ

はあ  
はあ

へへ、何が「抜いて」だ  
お前自分でわかってるんだろ？  
自分のケツが俺のチンポを  
啜え込んで放さねえのをよる

そんな、事...ないわ  
ありえない...



おお、すげえ  
ケツから精液が溢れてくるぜ  
こんなに出てたのか

こんなの…許せない…  
願すきるわ…

ゴロゴロ

ピロ  
ピロ

泣くのはまだ早えよ  
俺はまだまだイケるぜ  
^^  
今度は離穴で輪しもうかな  
^^^^

ダメ！  
そ、それはダメよーいやー！

ゾワ...

トロ~

ト...ト...



^^  
^^  
ケツの穴置かされて濡らしてんのか?  
淫乱女がよお

うううう...  
もうやめて!

このびったり閉じた雌穴、  
絞まりが良さそうだぜ  
まだダンナにもそんなにやられてねえのか?  
^^、俺ががつり開発してやるぜ!

ネト...

セクセク

トク

トク

セクセク

セク

見えるか？  
このチンポが今からお前を  
めちゃくちやに犯してやるぜ

ぐっ…  
そんな気持ち悪いもの見せないで！

尻挿し

だ、だめ…私、主人だけって決めて…っ！

へへ、気持ち悪いか？  
でもお前のダンナにも  
同じモノが付いてるんだぜ？  
まあ俺のより小せえだろうけどな  
へっへっへ  
いくぜえ！

ズンズン

すいすい

おおお！  
すつけ……な、何だこの感触  
髪が……絡み付いてきやがる！

んいやあああああああ！  
ヤメテエエエエ！

ずぶぶぶぶ

が子ゅりゅり

へへ、  
いい悲鳴だ  
でもお前の穴は喜んでるみたいだぜ  
わかるだろ？  
もうグショグショに濡れて俺を待ってたんだ  
へっへっへ



ふんっふんっ！  
どうだ？俺のチンポは？  
ダンナとどっちがいい？

うう、やめ……て……ああ  
どう……して……わたし……が……  
ああっ……んっ

お前がエロい身体してよお  
ダンナと楽しそうに街歩してるの見て  
ぶっ壊したくなっただよ  
^^  
一目見たときから  
お前を犯したくて犯したくてよお





ひどい...そんな...あつ  
理由でこんなこと...  
うう...

お前らの幸せそうな顔を  
歪ませたくてなあ  
お前結婚したばかりだろ？  
俺からプレゼントをやるよお

そんなの...いらぬわ  
もうやめてこんな事!

そう言うな  
受け取れ!  
俺からのプレゼント...  
へへ、孕め!  
俺の種で俺の子供を孕めよ!

あめん

アッ

グッ

アッ

グッ

ガッ

アッ

グッ

おらああああああああ!

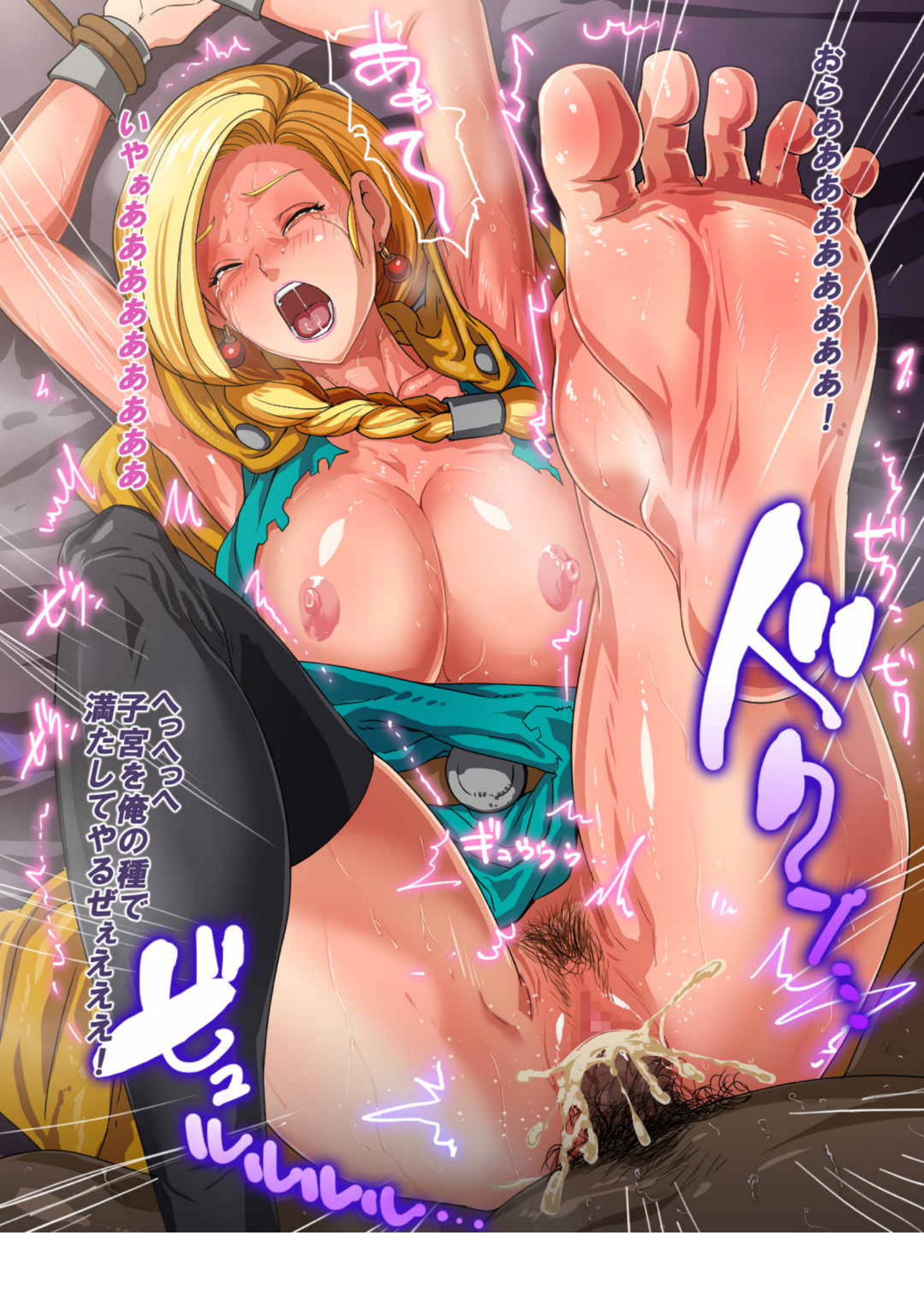
いやああああああああ

へっへっへ  
子宮を俺の種で  
満たしてやるぜええええ!

ぐ  
わ  
げ  
げ

ジュ  
ル  
ル  
ル  
ル...

ギョウウ




はあはあ、これは痛み付きになるな...  
最高のおマンコだぜ...

あ...あ...うそ...うそ...  
中に...だめ...もう、やめて...

そう泣くなよ  
ちゃんと帰してやるって  
お前が妊娠したら...な  
へっへっへ  
まだ始まったばかりだぜ!

ゴッ

ゴッ



4日間、休む間もなく  
ピオンカは男に犯され続けた。。。  
暗い地下室に響いていた悲鳴も  
徐々に聞こえなくなり、  
ピオンカの意識はなくなりつつあった。  
男は欲情すると、  
意識のないピオンカを犯した。  
声をあげない女体を食り続けた。

そして、さらに半年後。。。  
子供を宿し、腹を大きくしたピオンカは  
開放された。  
外出したピオンカはフラフラと歩き出した。  
夫と住んでいた街ではなく、  
誰も自分を知らない、見知らぬ街へ向かって。。。



はあはあ、ミ〇ユ様。。。  
見かけによらず大胆な下着なんですわ  
はあはあ

な、何のまねなの。。。  
よしなさい！こんな事。。。

しほの しほの

もう引き返せませんよ  
ずっと憧れたっただです。はあはあ。。。  
凛とした表情で占いのするミ〇ユ様が。。。  
その表情をむちゃくちゃにするのが  
ゆめだったんですうう！  
いい頂きます！

ギ

(は)

ギ

ギ

ギ

ギ

ギ

すーはーすーはー！  
あああ、これが夢にまで見た  
ミ〇ーユ様の女の匂い……  
いい匂いですよ、ミ〇ーユ様……

や、やめなさい！  
こんな事をして、  
許されると思っているのですか！

いや、  
やめなさい！

汗と……おマンコの匂いが混ざって  
頭がクラクラしますよ  
これが女のフェロモンなんですわ  
こんな匂い撒き散らして、  
変な男が寄ってきたらどうするおつもりなんですか？  
まったく……





おおお、ミオー様。。。  
下の毛の処理はしてないんですか  
はあはあ、キレイなお顔とのギャップが  
最高です。。。  
おマンコもおかしいです

あぐ。。。  
き、汚らわしいー  
やめなさいーやめて。。。  
あ

おや？  
何か溢れてきますよ  
透明の液体が、ぐへへ  
ほ、僕の愛撫で感じてくれたんです

ははははは

たろたろ

はははは

はははは

はははは



「はあ」  
が、がまんできません...  
見てください、僕のおチンポ  
これでミ〇ー君と一緒に舞がらんです  
クハッ...

「はあ」  
「はあ」  
ば、馬鹿なマネはよして  
お願いもうこんなふざけた事...  
い、今ならまだアナタを罰する事はしません  
だ、だから...

おん...もっ?

だ、だめです  
僕の初めてはミ〇ー君に挿げると決めたんです  
だから絶対受け取ってもらいますよ...  
でも、今挿げると暴発してしまいそうですから...

な、なにを...する気なの...

ト〜





はあ  
み、見てください…。  
はあはあ、これオナニーって言うんですよ  
ミ〇ユ様、オナニーしたことあります？  
僕はいつもミ〇ユ様を想って  
オナニーしてなんですよ

はあ  
うっ…。  
なんて汚らしいの。  
アナタみたいな人に想われても  
何も嬉しくないわ！

キ・タラシ！！

はあはあ、ミ〇ユ様！  
いきそうです！出しますううう！

えっやっ…やっ





あぁ、ミ〇一様が…  
僕の精液を浴びてらっしゃる…

どうですか？  
その精液に僕の精子がたくさん泳いでるんですよ  
あとでミ〇一様の子宮に注いであげますからね

な、何言ってるの！  
ぞ、そんな事したら…私…

ミ〇一様は僕と子供を作る運命なんですよ…  
他の男にそんな事はさせません

くっ、さあ、いきますよ！

ごう



くへ、もうすぐですミ〇ユ様  
異達もうすぐひとつになるんですよ！

やめ、てー！  
お願い、これ以上は！  
本当にだめよー！

やめろ！！

い、やめ

ずい

ずい

ゼンゼン

いよ

いよ

いよ

見て下さい  
さっき出したのにまだ勃起してます  
僕のおチンポでミ〇ユ様を  
気持ちよくさせてあげます！  
いきます！



いやああああああああああ!!

おおおおおおお

ミミオー様! やっぱり処女だったんですね!  
やった! 初めて同士、運命ですよこれば!

ズン!!

ああああ

ああああ

ああ

い、痛いっ! 痛いっ!  
抜いてええっ!

あかん



あぁっ・ぐっあぁ!  
あぁっん!あっ!  
こ、これがセックス!  
僕の「ミ〇」様と作りいらい  
気持ちよすぎます!

あぁあ  
あぁ

バゴ  
のの

アッ  
アッ

ポン  
ポン

アッ  
アッ

どうですか?  
僕の「腰」は  
初めてですけど、  
「ミ〇」様を  
気持ちよくさせる  
ためにがんばりますっ!

いやっ!もうダメっ!  
抜いてっ!

あぁ  
アッ

ギン



ああっん!  
ああっん!  
ああっん!  
ああっん!  
ああっん!

ミ、ミオーユ様が...  
僕の下で眠らせてるぅー  
僕の童貞チンポで襲ってるぅー  
僕、感激です...  
はああはあ...

はああ、  
ほ、僕もう限界でっ!  
ミオーユ様も一緒にイきましょう!

あっあっあっ  
ダメエ!  
お願いだから抜いてえ!

ダメエ!  
ダメエ!  
ダメエ!

ああん  
のめん

アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ  
アッ

ギン

アッ  
アッ  
アッ  
アッ



いやあああああああ!

あああああああ!

ズンズンズン

うぐうぐうぐうぐー!  
喜んでくださいいいい!

あーん

ドゥン





あっ……ああ  
そんな……信じられない……  
こんな事……ウソよ

はあはあ、  
ミ〇〇ユ様、イきましたよね？  
ミ〇〇ユ様の腫がきゅううっと  
絞まりましたよ

あ

あ

あ

あ

ねえ、お願い……  
もうやめて……  
痛らせて……

うん、そうですね、「一緒に帰りますよ」  
この地下から出るときは「三人」で、ね？

え……？

ちゃんと妊娠させてあげますからな  
ぐへへ、もっともっと愛し合ひましょう！  
二人の時間はまだ始まったばかりですよ



一週間、二週間……  
歪んだ感情を持った男は  
ひたすらミ〇ーユを犯し続けた  
すでにミ〇ーユは全てを諦め、  
感情を閉ざしていた

男はミ〇ーユに何度も中出しし、  
妊娠を願った

さらに一ヶ月、二ヶ月……  
男の陵辱は終わることなかった……

そして約一年が経った

男と共に外に出られたミ〇ーユに  
笑顔はなかった  
笑っていたのは  
ミ〇ーユに寄り添う男と、  
ミ〇ーユの腕に抱かれた赤ん坊だけだった……